

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 上田市環境審議会 |
| 2 | 日時 | 平成28年 2月 1日 午後 2時 から 午後 3時10分まで |
| 3 | 会場 | 上田市役所南庁舎5階第3、4、5会議室 |
| 4 | 出席者 | 安井委員、石井委員、末広委員、吉原委員、北嶋委員、山崎委員、 富岡委員、坂下委員、高橋委員、五十嵐委員、山岸委員、掛川委員 |
| 5 | 市側出席者 | 堀内生活環境部長、滝沢生活環境課長、高野丸子市民サービス課長、 大塚真田市民サービス課長、柳沢武石市民サービス課長、 佐藤環境保全係長、若林主事、高橋主事 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成28年 2月 4日 |

協議事項等

- | | |
|---|--|
| 1 | 開 会 (滝沢課長) |
| 2 | あいさつ (安井副会長) |
| 3 | あいさつ (堀内生活環境部長) |
| 4 | 協議事項 (1) 平成26年度環境レポートについて ・資料に沿い、事務局から平成26年度環境レポートについて説明 (意見・質問等) (委員) BODの基準が達成していない地点についてはどのような理由があるのか。 (事務局) 春先だけ達成していないことから、農業の影響によるものと考えられる。 (委員) 湯川については春先だけでなく、11月にも高い値を示しているのはなぜか。 (事務局) その時期に護岸工事を行っていたため、一時的に基準値を超えてしまったものと思われる。例年は、基準値を超えていない。 (委員) 松くい虫被害木について、現在市内にどれだけの被害木の総量があり、それに対して目標値の8,000m ³ /年で処理していくと、比率はどのようになるのか。また、どこまでやれば処理したということになるのか。 【後日確認】上田市内における松くい虫被害木の総量は、平成26年度末で18,859m ³ となっており、4割程度の処理を実施している。しかし、依然として被害区域は終息傾向にはないため、守るべき松林を絞り込み対応していく予定である。また、処理方法については、伐倒くん蒸処理および危険枯損木の伐採を実施したもののことを指す。 (委員) 河川愛護団体とは、どのようなものなのか。 (事務局) 基本的には、自治会内に流れている河川について活動しているもので、河川がない自治会には団体はない。自治会の枠を越えて活動している団体もあるが、ここでは自治会として活動している団体数を記載している。 (委員) 荒廃農地再活用面積の70haという目標値は、どういう理由で設定されたものなのか。 【後日確認】上田市では、農業委員会やJA等の関係機関と連携し、荒廃農地の再生利用を図るべく毎年10haの解消を目標としており、その積み上げで70haという値になっている。 |

(委員) 上田市の温室効果ガスの排出量が、過去からみるとあまり変わっていないように見えるが、市として省エネに関する計画は持っていないのか。

(事務局) エコオフィスうえだという計画があるので、それに沿って省エネ行動を実施している。

(委員) 冷暖房や照明にもっと取組の余地があるように思う。

(委員) 小規模企業や家庭における省エネに関する指標がない。市全体として温室効果ガスを減らすためにももっと啓発が必要なのではないか。

(事務局) 現状では環境家計簿を家庭における省エネの取組の指標として見ている。

(委員) 上田市の温室効果ガス排出量について、オフィス、上水道、下水道部門と分かれているが、上水道や下水道部門について、主にどのようなところから排出されているのか。

(事務局) 上水道、下水道のどちらにおいても、水を処理する際の電気の使用量が多くの割合を占めている。

(委員) 下水汚泥から発生するメタンなどの温室効果ガスも計上されているのか。

【後日確認】記載してある数値は、エネルギー起源の二酸化炭素排出量のみとなっているので、メタンについては計上していない。

(委員) 里山整備ボランティアとは、どこで実施しているものなのか。

【後日確認】染屋台グリーンベルトと呼ばれる愛宕神社(上川原柳)から国露津穂神社(黒坪)までの緑地帯があり、染屋自治会が保全のために環境保全委員会を設置し、そこが主体となり活動をしているものである。当初は、木の伐採なども行っていたが、整備が進み、現在は、下草刈りやゴミ拾いを中心に行っている。

(委員) まちづくり活動拠点とはどのようなものか。

(事務局) 合併後、市内を9地域に分けて地域協議会を作り、それぞれに活動拠点を作るということで、目標値についても9ヶ所として設定された。現時点では、4地域で設置されているが、それ以外の地域については公民館等で活動を行っている。

(委員) 野外活動体験教室事業参加人数とは、どのような事業に参加した人数なのか。

【後日確認】野外活動体験教室とは、上田市子ども育成会連絡協議会の主催で行っているもので、年に4~5回開催している。例えば、千曲川での川遊びや上田城跡公園内でキャンプをしながら上田のいいところを発見するまちなかキャンプといった事業を行っており、それらに参加した人数を計上している。

(2) その他

委員からの意見

(委員) 市民に向けた省エネに関する啓発をもっとしてもらいたい。また、市として県の取組にもっと積極的に参加してほしい。

8 閉 会(滝沢課長)

(終了 午後3時10分)

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。